

管内関係機関 担当者 様

感染症発生動向について

このことについて令和8年第7週(2月9日～2月15日)の動向をお知らせします。

定点あたり患者数(1医療機関当たりの平均報告数)

感染症の種類	県北保健所管内 (平戸市、松浦市、佐々町)			長崎県	全国
	5週	6週	7週	7週	7週
インフルエンザ	●71.67	●81.33	●65.00	●52.25	41.44
新型コロナウイルス感染症	1.67	2.00	0.33	0.59	2.13
RSウイルス感染症	0.50	2.50	0	0.29	0.59
咽頭結膜熱	●9.50	●7.50	●4.50	0.55	0.26
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	1.00	0.50	2.00	2.97	2.66
感染性胃腸炎	17.50	14.00	12.00	4.97	7.98
水痘	0	0	▲1.00	0.42	0.30
手足口病	0	0.50	0	0.23	0.06
伝染性紅斑	●2.00	●2.50	●4.50	0.35	0.14
突発性発疹	0	0	0	0.19	0.18
ヘルパンギーナ	0	0	0	0	0.01
流行性耳下腺炎	0	0	0	0	0.02
急性出血性結膜炎				0	0.01
流行性角結膜炎				2.75	0.44
細菌性髄膜炎	0	0	0	0	0.01
無菌性髄膜炎	0	0	0	0	0.02
マイコプラズマ肺炎	0	0	0	0.67	0.34
クラミジア肺炎	0	0	0	0	0.01
感染性胃腸炎(ロタウイルス)	0	0	0	0	0.05

急性呼吸器感染症 (ARI)	102.33	111.33	102.33	108.35	93.17
----------------	--------	--------	--------	--------	-------

●:警報レベル ▲:注意報レベル

【トピックス】 インフルエンザが流行しています。

長崎県の第7週の患者報告数は2665人で、定点当たり報告数は52.25となりました。前週より減少しましたが、警報レベルの報告数が13週間継続しています。
地区別では、10保健所のうち9保健所で警報レベルの報告数となっています。
年代別にみると、10歳未満(50%)、10代(36%)が多くなっています。20代では、前週の2倍以上の患者報告がありました。
また、12月はインフルエンザA型が中心でしたが、年明け以降、医療機関ではインフルエンザB型の患者の増加がみられています。
今後も手洗いの励行、適切なマスクの使用、換気などの基本的な感染対策に努め、感染予防を心がけましょう。また、インフルエンザワクチンは、発症及び重症化を一定程度予防する効果があります。希望される方は、ワクチンを接種しましょう。

【トピックス】 感染性胃腸炎に注意しましょう。

長崎県の第7週の報告数は154人で、定点当たりの報告数は4.97でした。地区別にみると、県北地区(12.00)、県央地区(7.20)は他の地区より多くなっています。
本疾患は、細菌又はウイルスなどの病原微生物による嘔吐、下痢を主症状とする感染症です。原因はノロウイルスやロタウイルス、エンテロウイルス、アデノウイルスなどのウイルス感染による場合が主流ですが、腸管出血性大腸菌などの細菌が原因となる場合もあります。手洗いの励行とともに、体調管理に注意して感染防止に努め、早めに医療機関を受診しましょう。

【トピックス】 急性呼吸器感染症 (ARI) に注意しましょう。

急性呼吸器感染症 (Acute Respiratory Infection:ARI) とは、急性の上気道炎(鼻炎、副鼻腔炎、中耳炎、咽頭炎)または下気道炎(気管支炎、肺炎)を指す病原体による症候群の総称です。インフルエンザ、新型コロナウイルス感染症、RSウイルス感染症などが含まれます。法律の改正により、令和7年4月7日からARIが5類感染症に位置づけられ、県内では51医療機関 (ARI定点) から、1週間(月～日曜)にARIと診断された患者数が週に1回報告されています。
ARIに含まれるインフルエンザなどの感染症は、冬期に患者数が増加する傾向にあります。予防には、手洗いやマスク着用を含む咳エチケットなどの基本的な感染対策が有効です。ARIの中には、高齢の方や基礎疾患をお持ちの方が感染すると重症化するものもありますので、場面に応じた対策を心がけましょう。